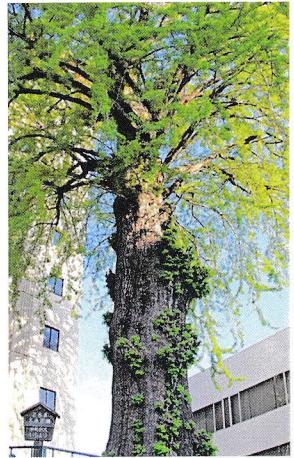


## 特定非営利活動法人 宇都宮市知的障害者育成会会報



令和7年9月25日発行（第60号）



## 本育成会の 今後の在り方について

理事長 池本 喜代正

この夏は、全国各地で気温が四十度越えを記録するような猛暑の夏でした。が、お変わりございませんか。

さて、今年度の会員登録では、正会員になるか贊助会員になるか迷った方がいたかも知れません。この紙面にて宇都宮市知的障害者育成会の今後の方針性について、現執行部で考えていることを少し説明させていただきたいと思います。昨年六月に鈴木前理事長から理事長を引き継いで以来、三役会議（理事長・副理事長・常務理事・事務局員）を中心しながら本育成会の今後の在り方について検討してきました。

本育成会が抱えている大きな課題は、

①会員数の減少②老朽化した作業所の今後の在り方です。まず、会員数の減少についてですが、今後の努力・働きかけによって正会員数を維持・拡大していくことは困難と思われます。本育成会のみならず他市町の育成会の会員数も年々減少しており、県育成会から脱会するところも出てきています。若い保護者の方々が加入しない理由としては、障害者福祉制度が充実してきたことともに、ネットで情報も収集することが容易であり、敢えて障害者団体に加入する必要性を感じていません。そこで、本育成会が抱えていることが、容易であり、敢えて障害者団体に加入する必要性を感じていません。

本育成会が抱えている大きな課題は、①会員数の減少②老朽化した作業所の今後の在り方です。まず、会員数の減少についてですが、今後の努力・働きかけによって正会員数を維持・拡大していくことは困難と思われます。本育成会のみならず他市町の育成会の会員数も年々減少しており、県育成会から脱会するところも出てきています。若い保護者の方々が加入しない理由としては、障害者福祉制度が充実してきたことともに、ネットで情報も収集することが容易であり、敢えて障害者団体に加入する必要性を感じていません。そこで、本育成会が抱えていることが、容易であり、敢えて障害者団体に加入する必要性を感じていません。

本育成会の二点目の課題は、老朽化している作業所の今後についてです。ご存知のように戸祭作業所・第二戸祭作業所・みなみ作業所は、築年数も古く建替え等が喫緊の課題となっています。「作業所見直し検討委員会」でもご意見をいただきましたが、戸祭・第二戸祭作業所については、同じ敷地内でもありますので建て替えならば統合して「生活介護事業所」に転換をするのが良いのではないかと考えています。地域活動支援センターとして継続する

会を今後どのように持続可能な団体とすることができるかを検討した結果、執行部としては認定NPO法人格を取得する方法がベストだという結論に至りました。認定NPO法人になれば寄付金控除もできるため、多くの方・企業・団体からの寄付金（贊助会費）が期待できます。また、会の構成メンバーも徐々に変わっていく必要があります。つまり、障害者の保護者だけの会から、障害者当事者・家族の方を中心とした会の趣旨に賛同するサポートナーの方々にも加入していただき、障害者施策に関心のある多くの方々によって支えられる持続可能な団体として存続していきたいと思っています。

本育成会の二点目の課題は、老朽化している作業所の今後についてです。ご存知のように戸祭作業所・第二戸祭作業所・みなみ作業所は、築年数も古く建替え等が喫緊の課題となっています。「作業所見直し検討委員会」でもご意見をいただきましたが、戸祭・第二戸祭作業所については、同じ敷地内でもありますので建て替えならば統合して「生活介護事業所」に転換をするのが良いのではないかと考えています。地域活動支援センターとして継続する

ことの将来的展望も見通せないので、障害者総合支援法に基づく事業として展開するために、現在地での建て替えを行われる可能性があります。そこで、ここ数年のうちに移転先も含め方向性を検討していくことが必要です。利用者の保護者の皆様や職員と意見を交換しながら、進めていきたいと思います。こうした方向性については、理事会の議を経て総会においても了承を得たところではございますが、会員の皆様から随時本育成会の今後の在り方についてご意見を頂戴できれば幸いです。これらの課題の他、作業所の活動内容や本育成会の事業（研修会・交流会など）についてもこれまでの事業を吟味し、さらに多くの参加者を募ることができる内容にしていきたいと思っております。本育成会を支えるのは、正会員として贊助会員の皆様です。皆様方から忌憚のないご意見やご要望をいただきながら、本育成会の運営を行つてまいりますので、ぜひ会の運営についてメールや手紙などでご意見等を事務局に送ってください。どうぞよろしくお願いします。

最後になりましたが、本年四月に本育成会のホームページを立ち上げることができました。「宇都宮市知的障害者育成会」で検索し、ご覧ください。

# 総会報告

**シンポジウム開催報告**  
佐々木 洋二

**大洗水族館の想い出**  
福田 忠明

**じゃがいも栽培に  
チャレンジ！**

六月十五日（日）、宇都宮市総合福祉センターにおいて

宇都宮市障がい福祉課

課長 金子 正明様  
常務理事 兼事務局長

栃木県手をつなぐ育成会 桥澤 昌徳様

会長 小島 幸子様

出席者数 一二七名

（うち表決委任者数 一〇一名）

司会者森屋弘美副理事長が、定款二十七条に定める正会員総数の二分の一以上出席があったことを確認、定足数をみたしたので有効に成立する旨を伝え開会を宣言しました。

佐々木洋二副理事長に議長を務めていただき、

令和六年度 事業報告及び決算報告

令和七年度 事業計画（案）  
及び収支予算（案）  
定款の改定

を審議いただきすべて承認されました。



本年五月七日、河内総合福祉センターにて「障害者団体の意義を再考する」と題したシンポジウムを開催しました。外部より立場の異なる二名の方をパネリストにお招きし議論を進めました。また、他の障害者団体の方々からもういろいろ貴重なご意見をいただきました。現在多くの障害者団体が共通して抱える危機的状況を背景に、「会員減少の要因と現状分析」「今日的な障害者団体の存在意義」「存続に向けた可能性と方策」「将来的な団体のあり方」等を中心テーマに討議しました。会員減少の主因として、若年層の未加入が挙げられ、その背景にはインターネットの普及や福祉行政の充実により、団体に所属しないこと等が挙げられました。

今後、団体が意義ある存在として継続するためには、「なぜ障害者団体が必要なのか」を改めて問い合わせ、幅広い意見を集めることができます。大切なことです。団体の将来は、当事者・家族・支援者・地域の協働と主体的な関与にかかるとまとめられました。

七月十三日に、親子レクリエーションで大洗水族館に行つてきました。ついてからみんなで記念撮影をした後、自由行動だったので、真っ先にイルカのショーを見に行きました。アシカがお客さんに水をかけまくつたり、イルカの高いジャンプで輪くぐり、観客席に水をはじき飛ばしたりと迫力あるショーを見ました。

水族館の方は大混雑、ゆっくり見ることはできませんでした。昼食をすませ集合時間になつたので、バスに乗つて運転手さんおすすめのおせんべいややげをたくさん買って、楽しい時間をすごしました。

三月七日、十三日に、各作業所の利用者全員参加でじゃがいも植え付けを行いました。キタアカリ、ビルカの二種類です。お借りした畝に出向き、丁寧に作業することができました。六月には熱中症の心配をしつつも、無事に収穫することができました。各作業所で袋に入れて販売したところ、多くの方に購入していただきました。初めての試みでしたが、ご協力いたしました。

だきました皆様、ありがとうございました。

三月七日、十三日に、各作業所の利用者全員参加でじゃがいも植え付けを行いました。キタアカリ、ビルカの二種類です。お借りした畝に出向き、丁寧に作業することができました。



『銀のさら』のおしごと、がんばっています

シーラーのおしごと  
きいろのテープで  
とめました!!

秋とは名ばかりで厳しい暑さが続いています。そのような中でも戸祭作業所のメンバーは、疲れを見せず仕事へのモチベーションが高くエネルギーを限り組んでいます。

最近の出来事ですが、YMCAsに参加している高校生二人がボランティア活動で戸祭作業所に来て下さいました。皆喜んでボランティア生を迎えて入れ、親切に応対している姿は、生き生きとして輝いていました。

一人一人の特性の違いはありますが忍耐力・粘り強さ・気遣い・ユーモアがあふれるとっても素敵なチームです。

秋とは名ばかりで厳しい暑さが続いています。そのような中でも戸祭作業所のメンバーは、疲れを見せず仕事へのモチベーションが高くエネルギーを限り組んでいます。

最近の出来事ですが、YMCAsに参加している高校生二人がボランティア活動で戸祭作業所に来て下さいました。皆喜んでボランティア生を迎えて入れ、親切に応対している姿は、生き生きとして輝いていました。

一人一人の特性の違いはありますが忍耐力・粘り強さ・気遣い・ユーモアがあふれるとっても素敵なチームです。

## 作業所だより 戸祭作業所

### 『ラ・オハナ』でお食事会をしました。

口コモコ!!  
おいしくって  
ピース「フルーツアソート」  
おいしい!!  
おしゃれ!!「アロハ~」と、  
店員さんが  
むかえてくれましたナイフとフォークを  
上手に使って……  
クリームたっぷり  
パンケーキ

### おしごとに 集中 集中

ことしの夏は  
暑かった……

ボランティアの  
おねえさんとピース

### ボランティアの 高校生と一緒に!!

来てくれて  
ありがとう!!クローバーステーキハウスで昼食  
おいしかったぁ♪わたしのところに  
こんなにたくさん!なかがわ水遊園に  
行きました



## ☆おめでとうございます

第三十一回栃木県民福祉のつどいが  
八月二十一日に栃木県昭和館正庁で開  
催され、次の方が表彰されました。

心身障害児者親の会連合会 会長表彰

福田 はるみ 様

心身障害児者親の会連合会 会長感謝状

特定非営利活動法人とちぎ障害者  
労働自立センター ゆめ 様

## ☆ご寄付ありがとうございます

四月、すぎの芽後援会様よりご寄付  
をいただきました。

五月、匿名で寄付をいただきました。

六月、匿名で寄付をいただきました。

七月、奥村正様よりお茶・文房具等  
をいただきました。

雀宮中央小学校、田原小学校  
保護者様よりご寄付をいただきました

九月、栃木県労働者福祉センター様  
よりご寄付をいただきました。

多大なるご寄付をいただき誠にあり  
がとうございました。  
皆様からいただきましたご寄付は、  
有意義につかわせていただきます。

佐川 浩光 様（大曾作業所）

## ☆お世話になりました

佐川 浩光 様（大曾作業所）

## 令和七年度行事予定

### 会員だより

牧田 久美子

『うつのみやふれあいスポーツ大会』  
十月十八日（土）  
ブレックスアリーナ宇都宮

『カルフルとちぎ』

十一月一日（土）  
とちぎ福祉プラザ

わかくさアリーナ

『関プロ大会』東京大会

十一月八日（土）・九日（日）  
日本工学院専門学校

『料理教室』生チョコ作り

十一月十六日（日）  
とちぎ福祉プラザ調理室

『宇都宮市民福祉の祭典』

十一月二十三日（日）  
宇都宮市総合福祉センター他

『研修会』

十一月二十七日（木）  
姿川地区市民センター

『交流会（ボウリング）』

十二月七日（日）  
第一トーヨーボール

『刺繡に挑戦してみよう』

十二月二十一日（日）  
育成会事務局

『新年懇親会』

令和八年一月二十五日（日）  
宇都宮市総合福祉センター

宇都宮市知的障害者育成会	
年会費	正会員 四,〇〇〇円
贊助会員	三,〇〇〇円
団体贊助会員	一口 一万元

入会をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。☎(908)8680

### 編集・発行

特定非営利活動法人  
宇都宮市  
知的障害者育成会  
〒320-0053  
宇都宮市戸祭町  
2118番地  
TEL・FAX  
028-908-8680



<https://utunomiyaiku.org/>

宇都宮市知的障害者育成会の  
ホームページができました。  
ぜひご覧ください。

### 編集後記

先日、作業所の皆さんのが種芋を植え  
て収穫したじゃがいものピルカ、購入  
させて頂きました。我が家のは次男はボ  
テトサラダが好きなので、早速作って  
みました。見た目はメークインの様な  
形をしていますが、茹でるとホクホク  
してねつとり美味しいボテトサラダが  
できました。家族三人で美味しいね！  
とあつという間に食べてしましました。  
次回は何を作られるのか楽しみにして  
いますね。

施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。  
施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。  
施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。  
施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。

施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。  
施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。  
施設では、受注班の一員として落ち  
に通所して二十年、今年で四十歳にな  
りました。  
早いもので息子がグーフォ・かわち  
着いて仕事が出来ている様子で安心し  
ています。